



### 3 小単元の構成図

#### 【小単元のねらい】

福岡県小石原地区では320年以上もの間、小石原焼という伝統的工芸品が作り続けられている、県内でも特色ある地域である。

小石原焼は長い伝統があり、今でも多くの人々から親しまれているのには、次のような3つの理由がある。豊かな自然条件という固有の風土を生かしていること、窯元の工夫や努力によって古くから伝わっている技術や技法が守り受け継がれていること、小石原焼を守り発展させようと村の人たちが協力していることの3つである。この3つの理由はそれぞれに関連しており、小石原焼に欠かすことができないものである。

小石原でくらす人々は、小石原焼を大切に思い、くらしの糧としながら小石原焼の発展とともに歩んでいる。

#### 【考えること】

小石原は、焼き物に適した土や上薬の原料となるわら灰や木灰がすぐ手に入る自然環境である。また、陶器を焼き上げるためのまきも豊富にあった。

これらの自然条件を生かして小石原焼が作られている。

(原料となる自然)

窯元たちは、小石原焼の技術など320年以上の伝統を守り受け継ぐとともに、できるだけ多くの人に使ってもらえるように工夫や努力をしている。このような小石原焼に対して、窯元たちは愛情と誇りをもって作品作りに取り組んでいる。

(窯元たちの工夫や努力)

小石原でくらす人々は、できるだけ多くの人に小石原焼のことを知ってもらい訪れてもらうために、小石原焼の施設をつくったり、イベントを開いたり、宣伝・広報活動に取り組んだりしている。小石原焼を中心とした村づくりに取り組み、小石原焼を大切に思いながらくらししている。

(村の人の協力)

#### 【調べる事実】

##### 地形や位置

- ・福岡市から見て南東
- ・福岡市から約45km
- ・大分県との県境
- ・山に囲まれた地形

##### 陶土

- ・焼き物に適した土

##### 上薬

- ・わら灰(田んぼから)
- ・木灰(木から)
- ・長石(近くの朝倉から)
- ・さび土(鉄を含む土)

##### まき

- ・山に囲まれていて、たくさんのお木があり、十分なまきが手に入った。

##### 独特の技法

- ・はけめ
- ・くしめ
- ・飛びかんな

##### 道具の工夫

- ・形作り(鹿の皮、木のへら、とんぼ)

- ・電動ろくろ

- ・ガス窯

- ・粘土をこねる機械

##### 窯元の努力

- ・陶土をうまくこねられるようになるまでに3年

- ・陶土を作る努力

- ・天日干し

- ・焼く(難しい温度調節, 30時間つきっきり)

- ・今の時代にあった作品

##### 窯元の思いや願い

- ・326年の伝統を受け継ぐ
- ・小石原焼に対する思い
- ・多くの人に知ってもらい、使ってもらいたい

##### 民陶むら祭

- ・ポスターやちらし
- ・ホームページ作り
- ・駐車場の確保

- ・祭への協力

##### 絵皿コンテスト

- ・宣伝
- ・補助金

##### 施設

- ・伝統産業会館
- ・道の駅
- ・ギャラリー小石原

##### 広める活動

- ・つちのこ会
- ・小石原焼の紹介ビデオ

##### 村の人の思いや願い

- ・小石原焼に対する誇り
- ・多くの人に知ってもらいたい

##### くらしの糧

- ・焼き物の売上高
- ・焼き物作りに関係する仕事の割合

4 指導計画（16時間）

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援									
つかむ	3	<p>1 小石原焼と小石原に出会う。</p> <p>(1) 小石原焼に出会う。 小石原焼とほかの焼き物との比較 小石原焼の特徴 焼き物の存在と、焼き物の原料 焼き物の作り方</p> <p>(2) 小石原地区の様子をつかむ。 地理的な位置 地形（山あい） 広さ（〇〇校区との比較） 村の様子（写真）</p> <p>2 小石原焼と小石原について調べ、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 資料を見て小石原焼と小石原について調べる。 小石原焼の技法（とびかな）とその特徴的な模様 人口や周辺環境 小石原窯元マップ 小石原焼のあゆみ（326年前から作られている）</p> <p>(2) 資料をもとに学習問題をつくる。 資料をもとにした疑問や、もっと知りたいこと 学習問題を一人一人が作成 二人組での対話活動 ・整理 ・付加 ・修正 全体で学習問題についての話し合い</p>	<p>小石原焼の特徴をつかめるように、他の焼き物と比較させる。 焼き物が土から作られていることをつかませるために、焼き物のビデオを見せる。 小石原の様子ができるように、同じ縮尺の写真で〇〇校区と比べたり、村の様子を映したビデオを見せたりする。 小石原焼の高い技術をつかませるために、事前に教師が作った焼き物とHさんが作った小石原焼を提示する。 小石原焼がさかんであることに気付かせるために、小石原マップを見せる。 小石原焼に長い伝統があることに気付かせるために、小石原焼の年表を提示する。 全体で学習問題をつくる前に考えを整理できるように、二人組での対話活動を仕組む。</p>									
		<p>（学習問題） 小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。</p> <p>3 学習問題のこたえを予想し、3つの追究の視点を明らかにする。</p> <p>(1) 学習問題のこたえを予想する。 今までの資料から学習問題のこたえの予想 二人組での対話活動 ・整理 ・付加 ・修正 全体で予想についての話し合い 予想を大きく3つに分類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予想</th> <th>予想</th> <th>予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。</td> <td>窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。</td> <td>小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 調べていくこと（追究の視点）を考える。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>視点</th> <th>視点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・土の採集 ・まきの使用 ・土以外に必要な原料 ・焼き物作りに適した土地</td> <td>・小石原焼の作り方 ・伝統的な技術技法の習得 ・新しい作品 ・思いや願い</td> <td>・窯元さん以外の人の協力 ・施設づくり ・宣伝活動 ・イベント ・思いや願い</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 自分が調べる視点を決める。 調べること、調べる順序</p>		予想	予想	予想	焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。	窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。	小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。	視点	視点	視点
予想	予想	予想										
焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。	窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。	小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。										
視点	視点	視点										
・土の採集 ・まきの使用 ・土以外に必要な原料 ・焼き物作りに適した土地	・小石原焼の作り方 ・伝統的な技術技法の習得 ・新しい作品 ・思いや願い	・窯元さん以外の人の協力 ・施設づくり ・宣伝活動 ・イベント ・思いや願い										
さぐる	8	<p>4 追究の視点に沿って調べ、自分の考えをつくる。</p> <p>(1) 資料をもとに調べる。 原料 作り方 道具 窯元の技術 村の人の取り組み など</p> <p>(2) 小石原の様子を見学・調査する。 窯元のHさん 技法、道具、原料、思いや願い 役場 村の人の協力、施設、広報、思いや願い</p>	<p>自分の予想について考えを整理できるように、対話活動を仕組む。</p> <p>「原料となる自然」「窯元の工夫や努力」「村の人の協力」の3つに予想を分類できるように、子どもたちから出た予想を板書で整理していく。</p> <p>追究の視点を明確にできるように、自分の予想をはっきりさせるためには、何について調べていったらよいか考えさせる。</p> <p>子どもたちが意欲的に調べられるように、一番調べたいことから調べるよう、追究の視点を決めさせる。</p> <p>子どもたちが意欲的に調べられるように、教室に情報コーナーを設置したり、資料の準備をしたりする。 見学してわかったことを記入しやすいように、「小石原焼を調べるぞカード」を準備する。</p>									

<p>さ ぐ る / 4 ま と め る</p>	<p>販売店 作品見学, お客さん, 買い物体験</p> <p>(3) 同じ予想の子ども同士で話し合う。 視点の分類・確認, 学習問題のこたえの確かめ 不十分な点の補充</p> <p>(4) 話し合いの準備をする。 表現物づくり 発表内容 発言の順番</p> <p>5 学習問題のこたえについて話し合う。</p> <p>(1) 「原料となる自然」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 「自然」グループの発表 質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶土...皿山で採れる 土を砕いて陶土にする</li> <li>・まき...焼くために必要な木がたくさんある</li> <li>・上葉...わら灰(田)・木灰(木)・長石・さび土</li> </ul> </div> <p>学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは豊かな自然があるから</p> <p>(2) 「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 「窯元さんの工夫や努力」グループの発表 質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造工程...菊ねりから焼きあげるまで</li> <li>・高い技術を習得する努力...伝統の技を守る</li> <li>・道具の工夫...電動ろくろ・ガス窯・こねる機械</li> <li>・新しい作品...時代に合った作品・求められる作品</li> <li>・思いや願い...伝統を守りたい・つなぎたい</li> </ul> </div> <p>学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは窯元の工夫・努力があるから</p> <p>2つの視点の関連についての話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かすために窯元さんは知恵を出している</li> </ul> <p>(3) 「村の人の協力」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 「村の人の協力」グループの発表 質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント...「民陶祭」から「民陶むら祭」へ 絵皿コンテスト</li> <li>・施設づくり...伝統産業会館・道の駅・ギャラリー</li> <li>・広報活動...つちのこ会・ポスター・ホームページ</li> </ul> </div> <p>学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは村の人の協力があるから</p> <p>3つの視点の関連についての話し合い</p> <p>(4) 3つの視点の関連について図を使って話し合う。 どのようなつながりがあると言えるか つながりをどのように図で表現したか 話し合って図を見直す 学習問題のこたえを考える</p> <p>6 「小石原焼新聞」を作る。</p> <p>(1) 小石原焼について伝える新聞作りに取り組む。 (2) 新聞を見合い学習問題のこたえについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(学習問題のこたえ)</p> <p>小石原で焼き物作りがさかんなのは, 自然を生かしながら昔ながらの技術を守り育ててきた窯元さんたちの工夫や努力と, 焼き物で村を発展させていこうとする村の人の協力があったからである。小石原の人びとは, 小石原焼に誇りを持ち, 大切に思いながら, 小石原焼とともに生活している。</p> </div>	<p>適切に調べ活動ができるように, 子どもたちに伝えてもらいたいことについて, 事前に打ち合わせておく。</p> <p>小石原焼に対する愛着をもつことができるように, 小石原焼買い物体験をさせる。</p> <p>効率的な発表ができるように調べてわかった事実を, 追究の視点ごとに整理させ, 発表の準備や資料の準備をさせる。</p> <p>わかりやすく発表できるように, 資料を見せながら発表させる。</p> <p>事実をもとにした話し合いが深まるように, 小石原に関する資料は教室に掲示しておく。</p> <p>調べた事実を全体で共有するために, 質問や付け加え, 意見の交流をさせる。</p> <p>考えを高めせるために, 学習問題のこたえになるか話し合わせたり, 事実と事実の関連について話し合わせたりする。</p> <p>「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」の関連について視覚的にとらえることができるように, 2つの視点を線で結んだ図を板書に示す。</p> <p>3つの視点の関連について視覚的にとらえることができるように, 前時に板書した図に「村の人の協力」を付け加える作業を仕組む。</p> <p>学習問題のこたえを文章で考えやすくするために, 図を参考にするとよいことを助言する。</p> <p>小石原焼の知識や考えたことを整理できるように新聞にまとめ, 友達同士で見合わせる。</p>
<p>本 時 1</p>		

## 第4学年 本時指導案

社会科研究室

### 1 本時 「3つの視点のつながりについて図を使って話し合う」(15/16)

### 2 本時の目標

「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」の3つの視点の関連について図を使って話し合い、小石原で焼き物作りがさかんなわけについて理解することができる。

### 3 本時指導の考え方

子どもたちは前時までに、学習問題「小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。」のこたえについて、「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」の3つの視点のグループの発表を聞き、それぞれが学習問題のこたえとなることについて理解できている。また、それらの3つの視点は関連があることを考え、関連を考えた自分なりの図を作っている。

本時は、それら3つの視点がどのように関連し合っているか図を使って話し合い、学習問題のこたえについてまとめる場面である。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

授業前までに教師は子どもたちの図を見ておき、どこに図の違いがあるかを見ておく。またその図の違いは、どのような考えの違いから出てきているのかを理解するために、図の説明を読み、子どもたちの「つながり」についての考えの違いを把握しておく。

また、違いについての交流が生まれやすい図を代表として選び、その図の児童の説明から話し合いを始めるようにする。

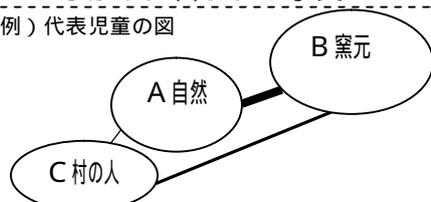
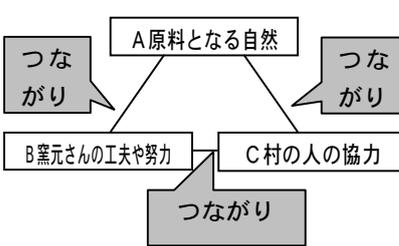
まず、代表児童に図を説明してもらおう。図はよく見えるようにプロジェクターを使ってスクリーンに拡大して掲示する。つながりについて説明した内容については教師が板書で整理する。聞く側に対しては、図に対する質問や付け加え、意見を出しやすいように、事前に発表者の提示する図を見せておき、質問や意見を考えさせておく。また、発表を聞いている子どもたちは、質問をしたり、意見交流をしたりしながら、考えの違いや賛成できる考えについて話し合っていく。質問に対して答えたり、付け加えたり、意見交流をしたりする場面では、事実をもとに交流できるように、資料となるグラフや写真、実物などは、教室に掲示しておく。また、自分の図を使って説明できるようにプロジェクターを準備しておく。

話し合いの終盤に、B「窯元さんの工夫や努力」とC「村の人の協力」の視点のつながりについて考えを深められるように3つの資料を提示する。一つめは「小石原をおとずれた観光客の数のグラフ」である。そこで観光客の数が増えており、そこには村の人の協力がある事を確認する。次に「窯元さんの思いや願い」「村の人の思いや願い」が分かる資料を提示する。そこで、つながりの話し合いの中で不十分であった窯元さんと村の人の共通の思いや願いについて考える。

図の話し合いと、教師が提示した資料をもとに学習問題のこたえを考える。ここでは、数人の児童に説明してもらおう。

最後に今日の学習について振り返り、自分の考えが深まったことについて文章でまとめる。自分の考えが話し合いによってどのように変わったかを発表することで、話し合いに対する満足感を高めたい。さらに、次時は学習問題のこたえを文章でまとめ、その文章を含めた『小石原新聞』に仕上げることを予告して意欲を高めたい。

4 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
1分	今日は自分の考えを図で確認するぞ。	1 本時学習のめあてを確かめる。 図をもとに3つの視点のつながりについて話し合い、自分の考えを深めよう。	話し合いが活発になるように、代表児の図を事前に見せ、質問や意見を準備させておく。
5分	Aさんの図は僕が考えた図と似ているな。	2 代表児童の図の説明からつながりについての考えを聞く。 つないだ理由 つながなかった理由 線を太くした理由 線を細くした理由 つながりに含まれる事実	前時のことを想起しやすいように「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」グループの発表の時に使った資料などを教室に掲示しておく。
20分	Aさんの図はつながっていないところがある。その理由をよく聞いておこう。 なるほど、だからAさんは線でつながなかったんだな。でも僕はつなげる理由があるぞ。だってこんな事実があるから。 同じように調べただけで、人によって考えの表現の仕方が少しずつ違うみたいだね。 私はこの事実からことここはつながると思います。なぜなら、このほかにこのような事実があるからです。 つながりは同じだけれど、僕は全然違う書き方で図を書いたんだ。ぜひ説明させてほしいな。 なるほど。この書き方なら、大切なことがよくわかるな。	<p>例) 代表児童の図</p>  <p>・自然にある土を陶土にしていることなど、自然を生かして窯元さんが小石原焼を作っていることがたくさんあるので、つながりが強いと思い、線を太くしました。 ・窯元さんと村の人は民陶むら祭の時に協力しているのでつながっているの、線で結びました。でも他のつながりに比べるとそれ1つだけなので、線を細くしました。</p>	<p>わかりやすく発表できるように図を拡大して掲示する。 説明で出てきた「つながり」に関する事実を教師が黒板で整理していく。</p> <p>(黒板で整理する様子)</p> 
10分	確かに村の人の思いや願いはなんだろう？村のことがすきなのかな。 どちらも小石原のことが大好きだし、大切に思っているんだね。	3 図をもとにした考えの意見交流を行う。 (1) 質問・付け加えをする。 なぜそう考えたのか さらに付け加えられる事実 賛成できる考え (2) 意見交流をする。 自分の図を用いながら 自分の考えとの比較 それを証明する事実の付け加え	代表児だけでなく、聞いている子どもたちが質問や意見交流をしやすいように、教室に事実となる資料を掲示しておく。  考えを高められるように、代表児以外の児童も自分の書いた図をもとに発表する場面を設定する。
8分	学習問題のこたえには人々の思いが付け加えられたよ。	4 新しい資料からつながりを考える。 (1) 観光客数のグラフ 観光客の数は増えている 村の人の協力は欠かせない どんな思いで村の人は協力しているのか (2) 窯元さんと村の人の思いや願い 村の人の思いや願い 窯元さんの思いや願い 共通の思いや願い	B「窯元さん」とC「村の人」の思いや願い、または共通の思いや願いについてとらえられるような資料を提示する。  小石原にある物や人々の行動や活動だけではなく、村の人たちの小石原に対する思いや願いが小石原での焼き物作りをさかんに行っていることに気付かせる。
1分	学習問題のこたえをよりくわしく考えることが出来たぞ。	5 学習問題のこたえをまとめる。 さかんな理由  6 本地学習を振り返る。 今日の学習での高まり 学習問題のこたえに対する考え	自分の考えの高まりについて振り返らせる。

